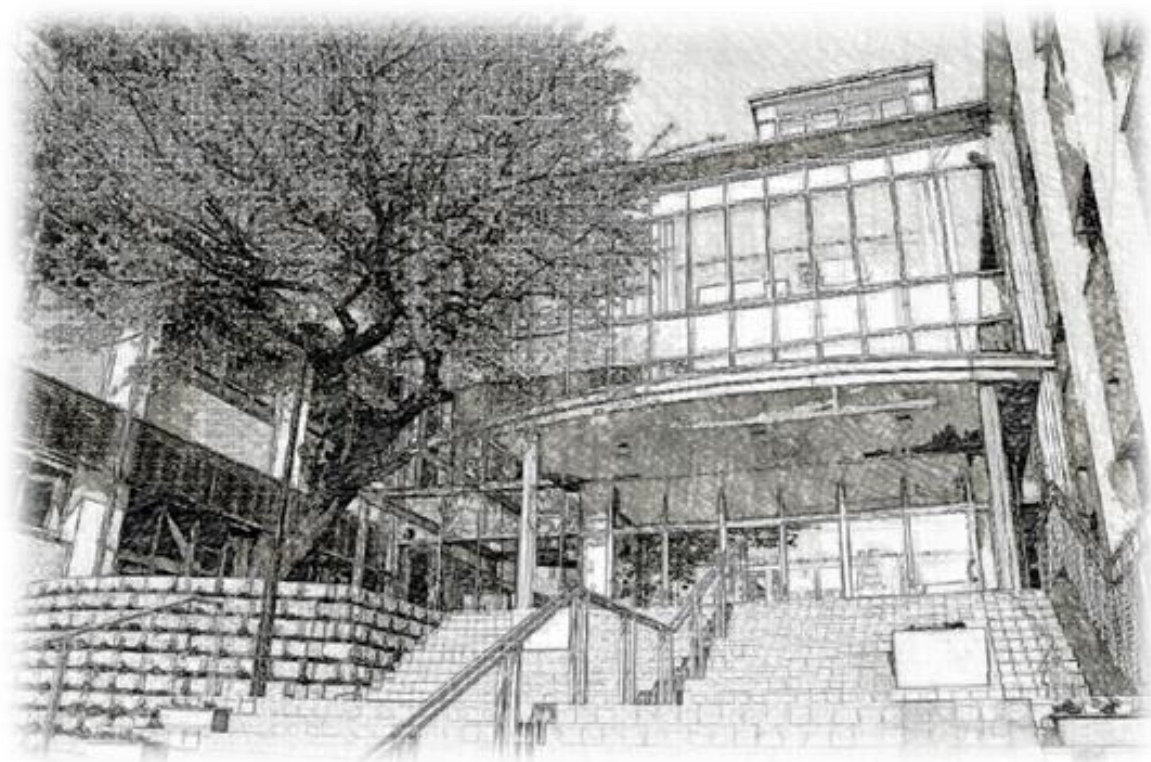


令和2年度

学校評価書



若狭町立三方中学校

令和2年度 若狭町立三方中学校 スクールプラン

めざす学校像
 ・信頼される学校
 ・魅力ある学校
 ・規律ある学校
 ・活力ある学校

学校教育目標 「共に生きる」
 ～自他を尊び 心豊かで 未来を拓く生徒の育成～

校訓
 ・正しく
 ・強く
 ・明るく

めざす生徒像
 ◎仲間を尊重する ◎授業に集中する ◎ふるさとに詳しい ◎きまりを守る

めざす教職員像
 ◎子どもを伸ばす ◎OJTで指導力を向上させる ◎ワーク・ライフバランスを心がける

研究テーマ： 協働を通じた、深い学びの実現に向けた授業の創造
 ～主体的にたくましく課題に取り組む生徒の育成を目指して～

①一時間一時間の授業の充実 ②安心できる学級づくり・学校づくり

重点目標

<p style="text-align: center;">《確かな学力》</p> <p>○生きる知識と技能の習得 ○スパイラルな学びによる思考力・判断力・表現力の育成 ○学びに向かう力（主体的にたくましく課題に取り組む力）の育成</p> <p>◎授業がよくわかる>80%</p>	<p style="text-align: center;">《豊かな心》</p> <p>○いのちを大切に、他者を尊重する心(リスペクト)の醸成 ○個人として集団としての、自主自律の雰囲気と自浄能力の醸成 ○学校行事の充実による達成感と自尊感情の醸成</p> <p>◎学校生活が楽しい>90%</p>	<p style="text-align: center;">《たくましい体》</p> <p>○体育や行事を中心とした運動やスポーツに親しむ態度の育成 ○スマートルールと早寝早起きの励行による健康の増進 ○部活動参加による技術向上とやり抜く力の育成</p> <p>◎7時間以上の睡眠>80%</p>
---	--	---

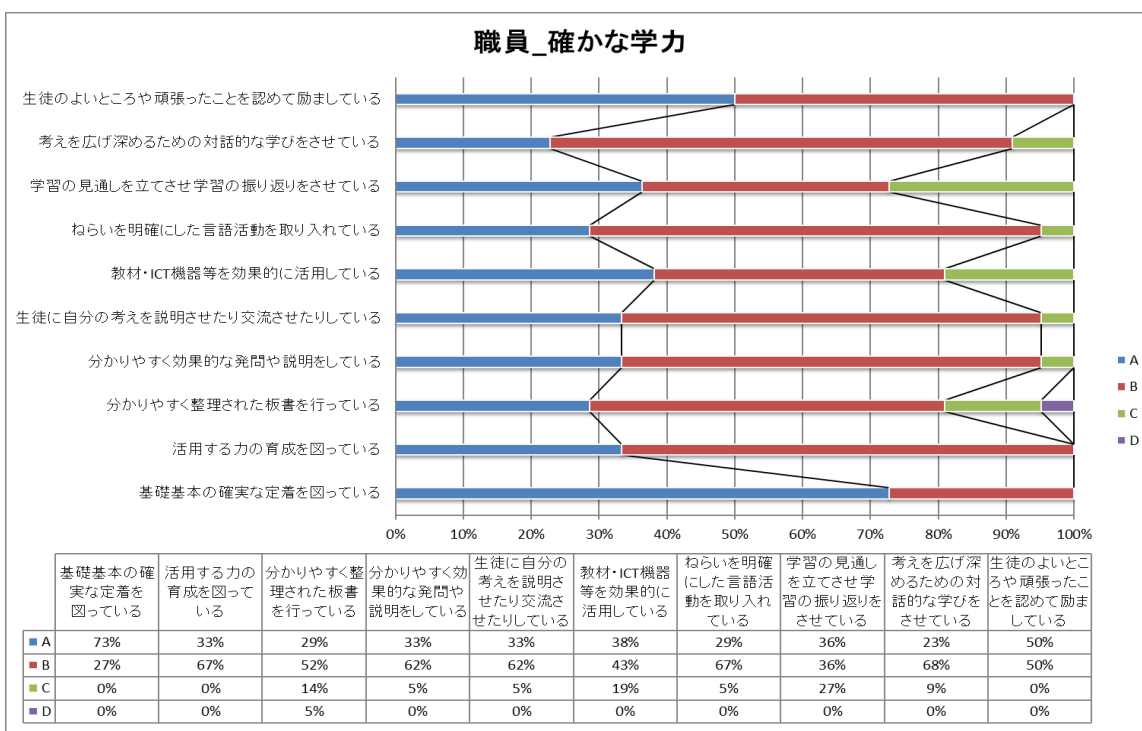
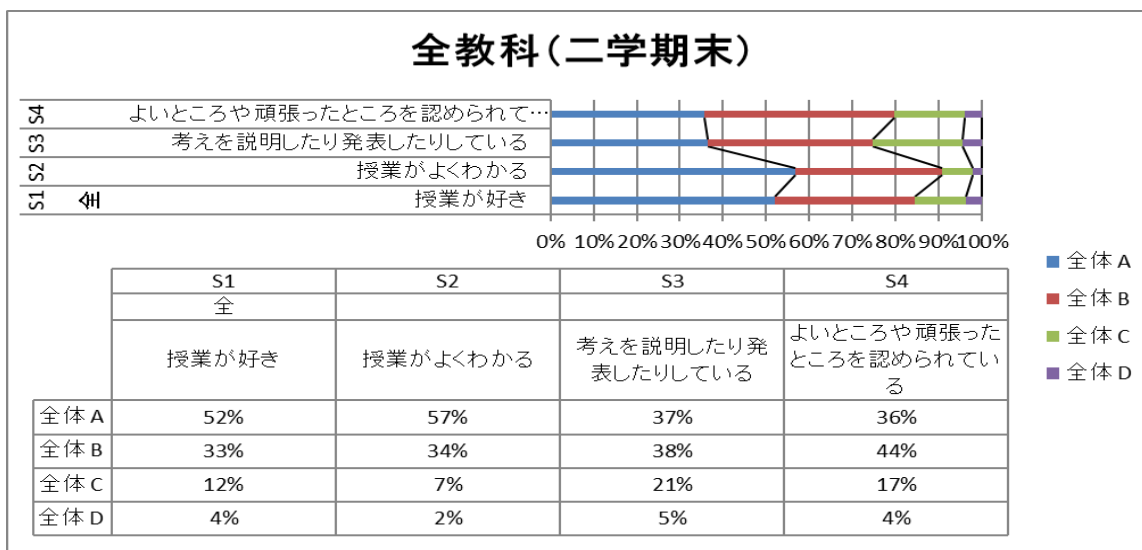
具体的実践内容

<p style="text-align: center;">《確かな学力》</p> <p>○学習指導の充実 ・ジグソー部会による授業研究の充実 ・ICT機器の積極的活用 ・基礎テストの実施による基礎・基本の習得 ・計画的、逆算的なテスト前学習 ・調査研究の複数サイクルによる思考力・判断力・表現力の向上 ○特別支援教育の充実 ・特支委員会の定期実施 ・教育的ニーズに応じた合理的配慮の実施 ○読書好きな生徒の増加 ・朝読書やすき間時間の活用</p>	<p style="text-align: center;">《豊かな心》</p> <p>○自尊感情の醸成 ・自己有用感と他者理解を高める指導の情報交換 ・教育相談部会の定期実施 ○道徳心の向上 ・機会を捉えては自己を振り返らせる ・広い視野と多面的多角的に生き方を考えさせる ○規範意識の高揚 ・スマートルールの遵守 ・規則を守り、自分たちで正す雰囲気の醸成 ○社会性の育成 ・全教育活動によるコミュニケーション力の向上と主体性・協働性の発揮</p>	<p style="text-align: center;">《たくましい体》</p> <p>○生涯スポーツの基礎 ・体育や行事に目標を立てて前向きに取り組む ○自己管理能力の育成 ・基本的な生活習慣による適正な睡眠時間の確保 ・上手にICTを使いこなす力の育成 ・むし歯や視力回復のための早期治療の励行 ・スマホ利用の講演会 ○部活動の奨励 ・専門としての技術向上 ・最後までやり抜く経験による自信の醸成</p>	<p style="text-align: center;">《家庭・地域との連携》</p> <p>○開かれた学校づくり ・各種たよりの発行 ・Facebookページの活用 ・学校公開日の設定 ○PTA活動の充実 ・奉仕活動・広報活動 ・親子奉仕作業 ○外部教育力の取込み ・チーム三方（町役場等外部機関との連携・協働） ・地域と進める体験推進 ・家庭地域学校協議会の支援と協力</p>
--	---	---	--

<業務改善の取組～活力あふれる職場～> ○福井県学校業務改善方針の遵守（全職員時間外勤務月80時間未満、年次休暇取得数11日以上）の達成 ○部活動休養日の設定と活動の効率化 ○教育活動への支援・協力の依頼（部活動指導員、学校運営支援員、SC、SSWなど）

2 学校評価アンケート 結果（自己評価）

【確かな学力】



—自己評価—

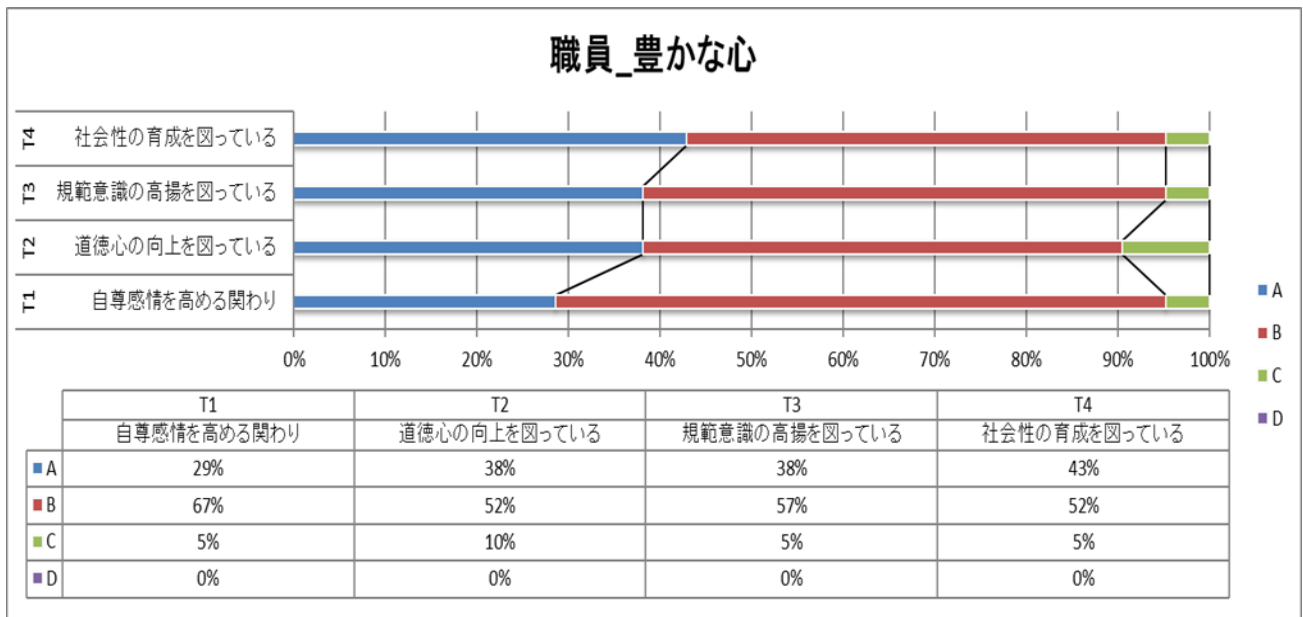
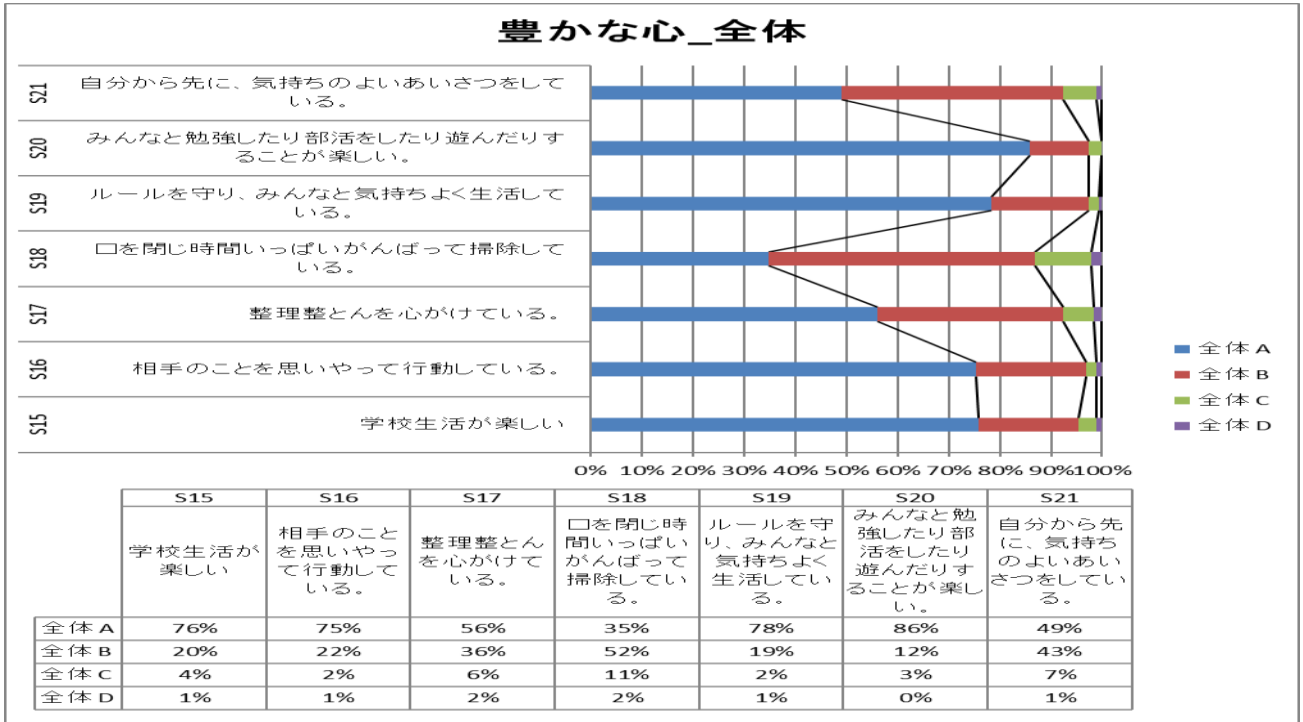
＜成果＞・「授業がよく分かる」が91%と、スクールプランの80%以上という目標を十分に達成することができた。

- ・主体的・対話的な学びを、教員・生徒ともに意識をし、学習活動に前向きに取り組んでいることがうかがえる。
- ・学習場面において自己肯定感が高まるような声かけや指導ができていていることが、両者のふり返りからうかがえる。

＜課題＞・各項目とも高い数値を示すが、否定的な回答をしている少数の生徒への支援が必要。

- ・基礎基本の定着を目指すことは最も重要であるが、活用力の育成など学びを深める工夫が必要である。
- ・新学習指導要領の完全実施に向け、達成目標や評価基準を作成し指導と評価の一体化を図ることが必要である。

【豊かな心】



—自己評価—

<成果>・「学校生活が楽しい」が96%と、スクールプランの90%以上という目標を十分に達成することができた。

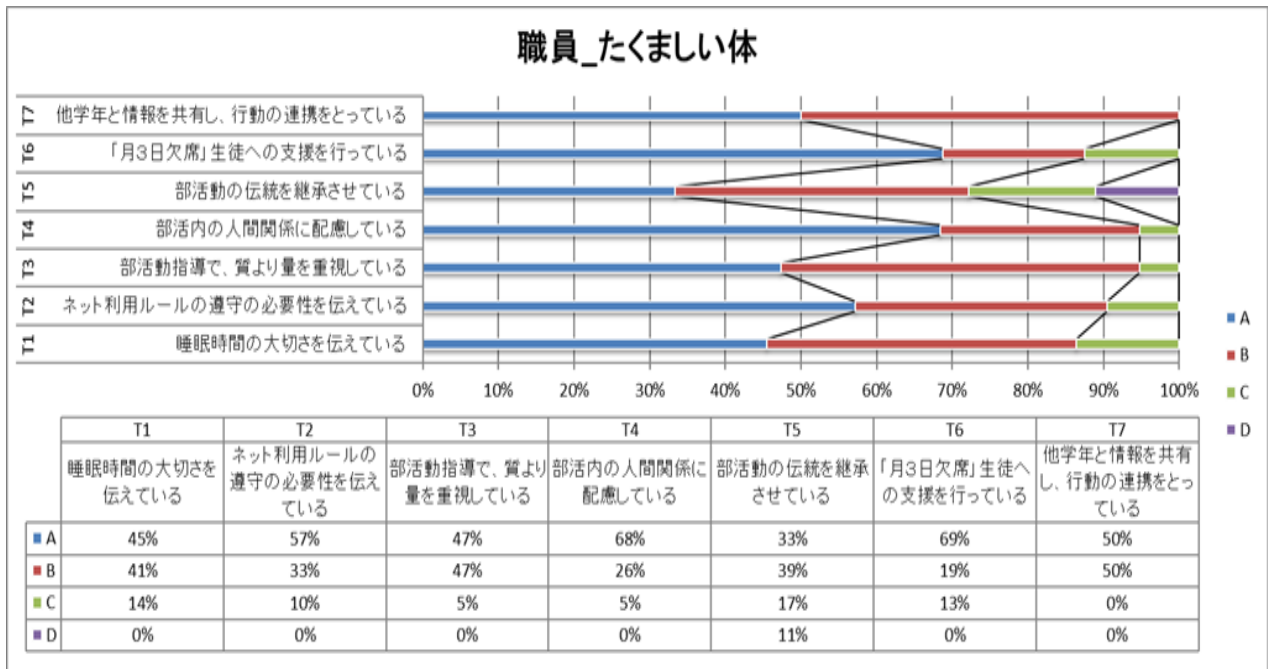
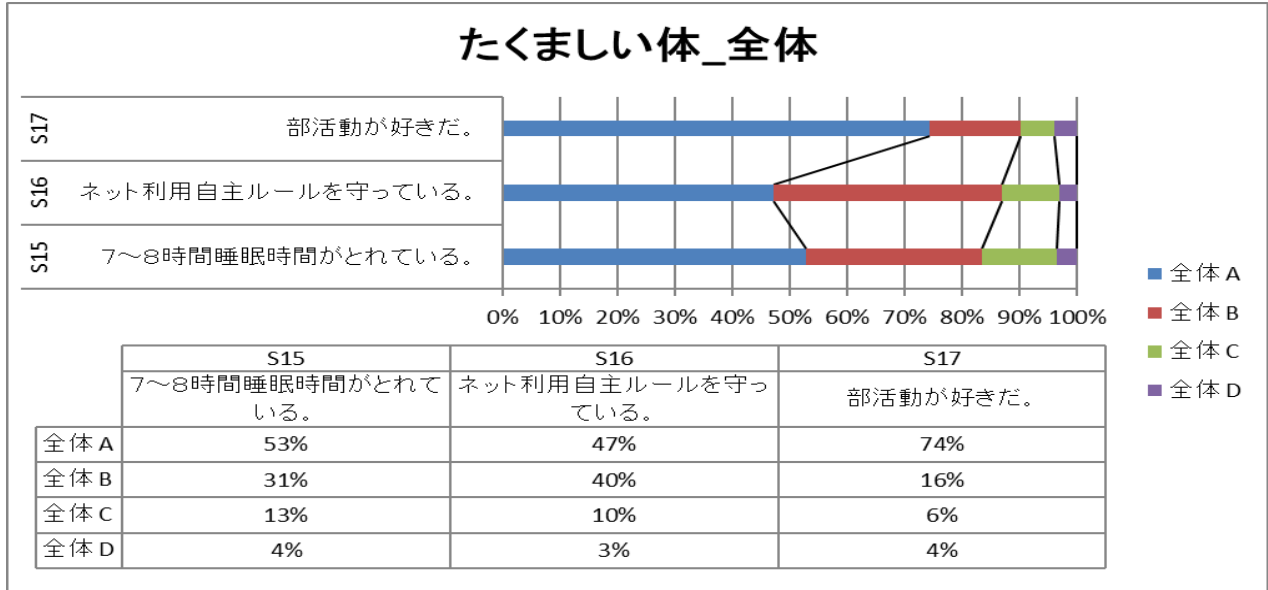
・他者を尊重する心(リスペクタザース)が、各学級や学年の日々の取り組みや、学校行事を通して醸成されていることが、S16・19・20などの結果によく表れている。

・生徒アンケートについて、どの項目も肯定的な回答が一学期末より増加している。

<課題>・「学校生活が楽しい」に否定的な5%（約10人）の生徒へのアプローチが重要な課題である。不登校傾向で別室登校をしている生徒への支援も必要である。

・教員の回答がAではなくBが多い。これは、生徒の回答結果と実際の姿にギャップを感じてのことで、教員の理想が高くまだまだ指導しきれていないという自覚の表れだと分析できる。教員自身が十分に取り組んだと振り返ることができることがゴールとなる。

【たくましい体】



—自己評価—

- <成果>
- ・「7～8時間睡眠時間がとれている」が84%と、スクールプランの80%以上という目標を十分に達成することができた。
 - ・ネット利用自主ルールについては、全学年8割以上守られている。
 - ・指導において、部活内の人間関係への配慮や、他学年との情報共有などにより、生徒理解に努めることができています。
- <課題>
- ・全体の9割が「部活動を好きだ」と回答している中、他学年と比較し81%と低い2年生の現状を見極め、指導の改善を加えていく必要がある。
 - ・部活動指導については、常に見直しを図り、質の向上を図る。悪しき伝統については改善していく。
 - ・SNSの利用については、関係機関と連携し、講演会の機会を設ける。「人権侵害」や「名誉毀損」など法律への意識を高める。

(参考資料)

◇ 生徒数

学年 組	1年					2年					3年					合計
	1	2	3	特	計	1	2		特	計	1	2	3	特	計	
男	8	10	10	2	30	13	14	-	2	29	7	9	9	2	27	86
女	14	13	13	0	40	18	17	-	1	36	14	13	13	0	40	116
合計	22	23	23	2	70	31	31	-	3	65	21	22	22	2	67	202

◇ 校別生徒数

学年	みそみ	明倫	三方	気山	梅の里	その他	合計
1	23	5	18	11	12	1	70
2	13	8	23	13	6	2	65
3	11	6	25	11	14	0	67
合計	47	19	66	35	32	3	202

◇ 部活動参加数

部活名	野球	陸上 (男)	陸上 (女)	剣道 (男)	剣道 (女)	バレー (女)	卓球 (男)	卓球 (女)	吹奏楽	文化 科学	合計
1年	10	4	6	1	3	7	12	6	13	7	69
2年	7	9	9	5	0	4	7	12	10	2	65
3年	7	10	7	2	3	5	7	7	18	1	67
合計	24	23	22	8	6	16	26	25	41	10	201

◇ S A S Aの結果 (県平均に対する本校の結果の割合)

H 2 7 (現大1)					H 2 8 (現高3)					H 2 9 (現高2)				
国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
107.7%	98.3%	99.5%	96.4%	96.3%	111.1%	100.0%	110.3%	105.8%	95.9%	104.7%	102.1%	100.9%	94.5%	98.3%
H 3 0 (現高1)					R 1 (現中3)					R 2 (現中2)				
国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語	国語	社会	数学	理科	英語
102.0%	92.5%	108.5%	90.7%	107.3%	104.9%	93.1%	97.1%	98.3%	103.5%	102.0%	105.7%	104.7%	100.4%	102.4%

◇ 不登校状況

NO	学年	欠席	遅刻	早退
1	1	59	61	0
2	1	4	8	65
3	1	6	2	66

3 地域を題材にした探究学習について

『MIKATA Research ～地域に学び探究する～』

(1) 育てたい力

若狭町の豊かな自然や文化に直接触れる体験を通して、地域のもつ魅力や強み、抱える課題を発見する。さらにそれらを解決しようとする探究活動である『MIKATA Research』を通して、地域と共に生きようとする態度や能力を育む。

(2) 学習の流れ

1年生	『まちの宝を発見しよう』	(MIKATA Research 1)
2年生	『課題発見』	(MIKATA Research 2)
3年生	『課題解決・発信』	(MIKATA Research 3)

(3) 活動実績

① 1年生 MIKATA Research 1 『まちの宝を発見しよう』

A 校外研修（10月）

- ・ 縄文博物館見学（縄文博物館学芸員による）
- ・ 年縞博物館見学（縄文博物館職員による）

B 梅加工体験（12月）

- ・ 梅の里会館での加工体験

C MIKATA Research 1

地域に目を向け設定した課題について、休日の取材や聞き取りを中心とした調べ学習を実施し、成果をポスターにまとめて発表する活動。

② 2年生 MIKATA Research 2 『課題発見』

A 特別講義「地域を知る」

外部講師を招聘した特別講義。様々な地域資源に注目し、地域の魅力や実情についてお話しいただいた。生徒たちの視点を広げ、自分事として地域を見つめることができる機会を増やす。

<特別講義>

(★印は地域コーディネーター)

期日	講義テーマ	講師
7月3日	三方五湖周辺の2つの宝	三方中学校 中村和浩
7月17日	縄文時代の暮らし	若狭三方縄文博物館 小島秀彰 氏
11月27日	若狭町の観光	若狭町観光未来創造課★岩崎 誠 氏
12月4日	若狭町の自然	県海浜自然センター 別司愛津砂氏
12月15日	若狭町の偉人 佐久間艇長	福井県議会議員 小堀友廣 氏
12月18日	若狭町の防災	若狭町防災対策室 青木勇磨 氏

B 校外学習（10月）

若狭町神子での校外学習。若狭町の魅力を体験的に学ぶため、みさきち・神子観光協会・若狭三方漁業協同組合・福井工業大学さんにお世話になり、魚釣り・魚さばき体験、シーカヤックなどを行った。

③ 3年生 MIKATA Research 3 『課題解決・発信』

2年生の3学期に設定した課題について、地域に住むプロの方々の指導をおおぎながら共に探究活動を進めた。現地調査や取材、体験を行ったり、課題についての議論を深めたりしながら、課題解決に向け取り組んだ。

A 各班の探究課題と指導受けた方々 (★印は地域コーディネーター)

班	課題	助言・指導をいただいた地域の方々	
1	縄文人になりきり、SNSでPRしよう。	若狭町歴史文化課	今井里美 氏 (★)
2	縄文土器はどのような技術で作られたのか。 ～縄文土器を作ってみよう～	若狭三方縄文博物館学芸員	小島秀彰 氏
3	年縞をどうやったらPRできるか。	MM 糸美方ケーブルネットワーク 年縞博物館	林 哲也 氏 堂見任優 氏
4	若狭町の観光客は、これ以上増えないのだろうか？	JTB 福井支店	川島圭司 氏
5	幅広い世代を若狭町に呼び込むには？		
6	ハザードマップを作り、災害を意識するにはどうしたらよ いのだろうか。	福井工業高等専門学校 環境都市工学科 教授	辻子裕二 氏
7	どのようにすれば、梅をPRすることができるだろうか。	YACHIMI パン	谷地田美由紀 氏
8	多くの人に梅のことを知ってもらうにはどうしたらよ いか。	若狭町観光未来創造課 焼き肉銀ちゃん	杉浦康造 氏 (★) 中西佑介 氏
9	なぜ若狭町ではコイやフナを食べるのか。	鳥浜漁業組合 組合長	田辺喜代春 氏
10	外来種を減らすにはどうしたらよいか。	福井県海浜自然センター	田中直幸 氏 小堀徳広 氏
11	レインボーラインを盛り上げるためにはどうしたらいい のか。	株式会社レインボーライン 若狭町観光未来創造課	大宮典子 氏 岩崎 誠 氏 (★)
12	三方五湖をPRするには。	里山里海湖研究所	高橋繁応 氏

B 探究成果発表会 (11月)

発表形式：口頭発表(代表による)、ポスター発表(全班)

聴衆：1、2年生、指導をいただいた地域の方々、地域コーディネーター

講評：地域コーディネーター

(4) 地域コーディネーターへの依頼事項

- 各グループの探究課題に関わる専門家の紹介と、連携に向けてのコーディネート活動。
- 地域コーディネーター自身による特別講義の実施や、体験活動の指導。
- 探究成果発表会への参加と、外部評価の実施。
- 各教員と連絡をとり、ともに活動の調整を進めることによる教員の資質向上へのサポート。

4 家庭・地域・学校協議会の実施

第1回 家庭・地域・学校協議会

新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校のため開催中止

第2回 家庭・地域・学校協議会 11月17日(火)

MIKATA Research (総合的な学習の時間) 成果発表会 として実施

生徒によるポスターセッションに参加していただき、生徒と直接議論を行い、全体講評をいただいた。

第3回 家庭・地域・学校協議会 2月12日(金)

<協議内容>

1 学校評価結果について

- ・学習指導について (重点項目①「確かな学力」)
- ・生徒指導について (重点項目②「豊かな心」、重点項目③「たくましい体」)

2 地域を題材にした探究学習について

<令和2年度協議会 委員名簿 >

地域学校協議会		委員名
地域関係者	1	若狭町観光未来創造課 岩崎 誠
	2	若狭町観光未来創造課 杉浦 康造
	3	若狭町歴史文化課 今井 里美
	4	若狭三方五湖観光協会 藤内 寿博
	5	縄文博物館DOKI DOKI会 山口 容子
保護者	6	三方中学校PTA会長 岩本 真吾
	7	三方中学校PTA副会長 三宅 隆浩
	8	三方中学校PTA副会長 和多田真砂恵
学校	9	校長 百田 忠浩
	10	教頭 中村 和浩
	11	教務主任 島津真喜雄
	12	生徒指導主事 小辻 淳二
	13	総合的な学習担当 渡辺 尚樹

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	<p>スクールプランについて特に意見はありませんが、課題にもあがっている様に、どの項目にも少数の学生の現状があるため、こちらの改善が言われる様お願ひしたいと思います。学習については、自宅での学習も踏まえ、個々の生徒のスタイルに合った学習を指導して頂ける対応や、場作りも期待します。</p>
生徒指導について	<p>子供達の考えも、とりまく環境も、時代で変わってきているので、大変ご苦労されている状況にあると思います。多感な時期でもあり、親の意見も聞いてもらえない様な状況、先生が一緒に考えて、正して下さるような環境があると、大変、親としては、有難いです。常にとり下されているとは思っています。有難うございます。</p>
地域を題材にした探究学習について	<p>良い機会を与えて頂いてありがとうございます。付け加えさせて頂くのであれば、若狭町は、走り高年齢地域です。高齢者を支えていく人材育成、やさしい町づくりに加えて頂けたらと思います。</p>
その他	<p>いつも子供達を温かく、見守って下さってありがとうございます。子供達一人一人に黙って正しく導いて頂く事は大変根気のいる事ですが、悩みのない子供達を育てていませんし、それをどうにかしてやりたいと思う親も非常に多いと思います。学校生活が、楽しく、一緒に悩む前に進んでいける場が所に在ればと思います。</p>

委員 A

お手数をおかけしますが、2月中に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	<ul style="list-style-type: none"> 先生方の授業にとり組む姿勢がたいと思います。ただ、SA よいところや頑張るところを認められているかという点に生徒達は、Aが36% Bが44%となり他の3つとは違う結果です。先生は、A50、B50となり、先生が怒かしていても生徒は感じていないので、何か、認め方を考えてもらうといいのではないのでしょうか。それが自己肯定力にもつながると思います。 宿題の確かさでも力がついているということにびっくりです。先生の授業の教え方がいいのでしょね。
生徒指導について	<ul style="list-style-type: none"> S20 が高評価なのは当たり前。(まだと遊んで、話した) S21 自分からあいさつしているか他の質問に比べたい。あいさつは人間関係、コミュニケーションの第一歩なので、このところのAが増えていくと嬉しい。 教師のBが多いのは、普通だろう。この質問はAと答えることは難しい。生徒の回答結果と実際の姿にギャップを感じることというの分かる。自尊心を高めるために生徒の一人ひとりの個性を認め、よいところを伸ばしてあげてほしい。ルールを守りたくても守れない生徒もいる。伸ばしてあげてほしい。
地域を題材にした探究学習について	<ul style="list-style-type: none"> 地域のフロから教えるということはずばらしいと思う。教育的な学習はどんな視点で、何をめざして、どうアプローチするかでゴールは全然違いました。教師の力量が試される恐ろしい教科でした。この探究学習も共通するところがあると思います。素朴な疑問、アイデアが生かされるといいですね。 指導者は大変です。→フロに...という方はよくわかります。 発表会は保護者も参加できるというかも?(してるのかな?)
その他	<ul style="list-style-type: none"> 変化が激しく、何が思えるか分からない世の中ですね。各生徒に、この乱世を生きて抜くため、どのような力が必要なのか、どんな力を身につけさせるべきか、悩み多々だと思います。将来子ども達が、自分のやりたいことができるよう、今は基礎基本をいかに体も貯えて身につけることあるいは秀でた力を伸ばすことも大事だと思います。とにかく先生方よろしくお願いいいたします。

委員 B

お手数をおかけしますが、2月中に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。

いろいろごちゃごちゃ書いてしまいました。子育てには親や祖父母も悩みつつではないでしょうか。とにかく元気だねというのが、ほめたい人の目標です。

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	<p>生徒がしっかり授業に取り組んでいる事が良く分かって良かった。 先生も生徒の事を考えるのが授業で考えるのが正しいのは、 本当に大変で悩む事もたくさんあると思いますが、頑張ってください。</p> <p>生徒によりやる先生になってほしいです。</p>
生徒指導について	<p>全体的に目標達成されているので、おほがしいです。 このうちも、生徒の事を一番に考えて頑張ってください。 してほしいです。</p>
地域を題材にした探究学習について	<p>中学校だけでなく、地域の色々な職業の元に知識を もつながら若狭町を良くしようとしているのが本当に いい取り組みをしていると感心しました。 コロナで大変な時ですが、この取り組みは、毎年つづけて ほしいです。</p>
その他	<p>どんどん新しい事をしてほしいです。</p>

委員 C

お手数をおかけしますが、2月中に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	SASAの結果からも、どの学年もしっかりと成果が表れており素晴らしいと思います。
生徒指導について	不登校者0と聞き、これも先生をはじめ、生徒のみなさんの学校全体の雰囲気がとても良い証だと思います。
地域を題材にした探究学習について	ここには書ききれず、別紙に書かせていただきました。長文で失礼いたします。
その他	<p>一保護者の意見で失礼します。</p> <p>昨年担任の先生にも提案させていただいたんですが、教科書のタブレット化は進まないのでしょうか。パンパンになった通学カバンの持ち運びだけで毎日相当なストレスになっている様です。片道30分の自転車通学の際は、カバンの重さでふらつきながら登下校している姿をみると、どうにかならないものだろうかと思います。</p> <p>今の時代、タブレット化は不可能ではないと思うのですが、前向きにご検討いただきたいです。</p>

委員 D

地域を題材にした探究学習について

今年度携わらせていただき感じたことを書かせていただきます。長文で失礼します。

三方中の生徒のみなさん、控えめで大人しく、大人からみるととてもお利口だなと感じています。探究学習中に、みんなの殻を破りたかったです。

会議の中でも中村教頭がお話されていましたが<〇〇を PR しよう！>というグループが多かったです。発想しやすく、無難で取り組みやすかったのかなと思います。

当館は特にそうかもしれませんが、テーマに対する課題を見つけ、具体的なアイデアを出そうとすると、知識や経験が無いとなかなか生まれてこないと感じていて、課題にいきつくまでの学習量と内容が足りなかったのかなと反省する部分もあります。

子どもたちにとってつまらない探究学習で終わらないためにはどうしたらいいのかコーディネーター側としてはすごく悩みます。

参考になりそうな取り組みがあったのでご紹介させていただきます。

既にご承知かもしれませんが、昨年、若狭高校2年生の有志男女7人が「高校生でおうちごはん盛り上げ隊」を結成し、小浜市内の飲食店のテイクアウトメニューを題材に SNS を活用した写真コンテストを開催しました。

クリスマス、年末年始におトクにテイクアウト商品が買えるキャンペーン「おうちでごはんおばまで団らん」（コロナ禍で外出を控えて自宅などで食事する小浜市民と飲食店を応援する企画）に合わせ、Instagram で利用者が楽しむ姿や写真やコメントを通して、店と利用者の結びつきを強める狙いで取り組んだ企画だそうです。この取り組みは、内閣総理大臣賞を受賞され、後輩へ引き継がれているそうです。

自分たちの取り組みがコロナの苦境の中、地域に貢献した、地域と繋がったと実感でき、やりがいを感じた企画だったと思います。表向き高校生が主体的に取り組んでいる様にも見えますが、その裏では仕掛ける大人がしっかりいたそうです。

その他、若狭高校生が作った鯖缶が宇宙食になったことも話題になりましたが、若狭高校の取り組みはとても参考になります。学校、民間、行政が連携し、それぞれがしっかりと役割を果たされ、目に見える成果に繋がっているなど。

個人的な意見もあり恐縮ですが、田舎に住む私も含めてですが、外のモノ、新しいモノがよく見え、憧れがあり、大人も子供も視点が外へ外へと向かいがちです。探究学習では、内に目を向け、自分の暮らすふるさとにあるものにたくさん触れ、ふるさとで暮らす人にたくさん出会ってほしいです。農業、漁業、飲食業、観光業 etc、それぞれの分野で地道に活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。こういう方々がこの町を支えてるんだということも知ってほしいです。

自分が暮らす町の素晴らしさを知り、自分が暮らしたい町となり、自分が暮らしたい町にするにはどうしていったらいいのかを本気で考え始めることを期待しつつ、私の実体験からもみんなには、今のうちに自分のふるさとのことをたくさん知っておいてほしいなと強く感じます。

最後に、前回の会議でご提案させていただきましたが、脇袋の西塚古墳の発掘調査体験ですが、学芸員に相談したところ「ぜひ！」ということでした。

発掘調査は平日の昼間になりますので、時間帯もちょうど良いのではと思います。

校内での授業も行えそうです。来年度のテーマの一つにぜひ加えていただけたらと思います。またご相談させてください!!

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	<p>「授業がよくなる」が91%と高い数字を示していることは、よい傾向であるが、授業がよくなるから授業が好きになり、という「授業が好き」との回答は、25%と分かるとの差が6%低い。授業が分かるから授業が好きになり指導をおねがいしたい。(理想)</p>
生徒指導について	<p>「学校生活が楽しい」が96%とスクール生活の目標を達成していることは非常にいいことである。ネット利用自主ルールについて8割以上守れている点については、我が子を含め、いそが疑問である。ネット、SNSの利用はほとんどが家庭で利用されていることである。保護者の担当役割が非常に大きいと考える。学校と家庭の連携が重要であると思う。</p>
地域を題材にした探究学習について	<p>自分達の住む小高の地域の自然や歴史等に ある課題を見つけ、それを解決していくという 活動は「地域を知る」という点でもとても良い 学習であると思う。今後と継続してほしい。 なお、活動地域の範囲について旧土中町を たいてはどうか。(旧土中町にも、熊川宿や古墳群 などの課題あり。)</p>
その他	

委員 E

お手数をおかけしますが、2月中旬に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	指示紙に「よく聴き、よく考える生徒」が少なく多いのがある...という印象を受けた。10代前半はおそらく最大の感、色々なことを強く考えたり揺る動いたりする年代のような感じがしていたので(25年前を思い出して笑)、このたびの各種データには、 <u>終始驚かされた。</u>
生徒指導について	※評価に当たっては、お礼を申し上げます。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 100px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 20px auto;">同上</div>
地域を題材にした探究学習について	幼思期や小中学生期における文化経験・自然体験の大切さを感じることに近年多く、習技でも実践を重くする傾向があると思っております(が、これによって生徒-先生が負担をさらに重ねることは絶対NG!!)。
その他	A-ボウリング(日本を訪れる観光客)だけでなく、3年前の入国法改正等に於いて日本に暮らす外国人がこれから急増する。異なる様な文化や価値感を柔軟に認めつつ、自身の考えを明確に主張できる中学生が育つことが望ましいと思っております。 ※英語や中国語教育が重要と申し上げているわけではもちろんなく...やはりコミュニケーション能力。つまり「国語」がカギ?

高校の校訓は「心も同、級生」との話題に繋がります

委員 F

お手数をおかけしますが、2月中に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。

(社)高松三好町/段英樹氏

2022.2.15 km

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	<p>学校評価アンケートを見ると、「授業がよく分かる」「学校生活が楽しい」「部活動が好きた」という回答が多く、先生方のご指導はもうろうん、先生と生徒との信頼関係が築かれていますからだと思います。</p>
生徒指導について	<p>スマホやタブレットの普及により、便利になった反面、ネット上のいじめや犯罪、生活習慣の乱れなど、ネット利用に対する指導が必要になってきていると思います。家族や地域の目が行き届かず、先生方も負担が大きいとは思いますが、情報社会をうまく生き抜くためのご指導を引き続きお願いいたします。</p>
地域を題材にした探究学習について	<p>地域の皆さんと交流する機会が増えることで、生徒たちのコミュニケーション能力や社会性の向上、愛郷心が育まれると同時に、専門家とのやり取りで授業に役立つことでキャリア教育にもつながります。また、地域の方にとっても学校や生徒の活躍に携われることで、生徒がいまを生き抜いていけるよう、双方にとって有効な学習であると思います。</p>
その他	<p>今年度は新型コロナウイルスの影響で思い切った学習や活動ができず、生徒も先生も苦労なされたと思います。 引き続き 将来若狭町を担う子どもたちのご指導をおしくお願いいたします。</p>

委員 G

お手数をおかけしますが、2月中に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。

家庭・地域・学校協議会 外部評価

項目	講評
学習指導について	<p>授業をよく理解し、学力にも反映されよう と安心した。</p> <p>引き続き、楽しく学べる学習環境の 整備にほい。</p>
生徒指導について	<p>スマホの所有率は低学年から高くなる ようと思われる。</p> <p>視力への影響なども十分把握できている。</p>
地域を題材にした 探究学習について	<p>題材に対し、正確な答えを求めよう という感じも感じた。自分たちの 考えを正解と見做すことには 前提に、グループワークにも 時間を費やす必要はないか? と思う。</p>
その他	<p>アンケートの実施は、記名式 の無記名式、これぞ Xリット、Yリットは よいと思うが、気が かりな生徒や否定的 意見の多い生徒を 把握にサポートし ていく必要がある と感じた。</p>

委員 H

お手数をおかけしますが、2月中旬に教頭までご提出下さいますようお願いいたします。